

第 80 号 (令和 8 年 8 月 31 日発行)

- 1、令和8年度 第1回学習会 開催報告
- 2、令和8年度 意見交流会 開催報告
- 3、帯広市団体意見交換会報告
- 4、令和8年度 定期総会 開催報告
- 5、いやしのオフタイム
- 6、ケアマネの輪
- 7、その他（審査会委員募集・事務局からのお願い）

地域包括支援センター 帯広市社会福祉協議会
中山 優

~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~

今回の学習会を通して、制度外の社会資源を活用することは特別な対応ではなく、利用者の生活を地域全体で支えるための重要な選択肢であると実感しました。利用者の本当のニーズや満足度を常に問い直し、多様な社会資源と柔軟につながることが質の高いケアマネジメントの実現につながると感じております。今後も現場の支援に役立つ学習会に積極的に参加し、地域全体の支援力を高めていきたいと思っております。



令和8年度 意見交換会 『ケアマネ意見交換会』

令和8年7月29日開催

ケアプランセンターあおいとり 鳥海 伸晃

7月29日(水)にグリーンフラザで開催された、第1回研修会「ケアマネ意見交換会」に参加させていただきました。

今回のテーマは「今更、聞けない事をカフェ形式で話し合ってみませんか?」というもので、会場ではお菓子や飲み物が用意され、終始リラックスした和やかな雰囲気の中で話を進めることができました。当日は参加者がそれぞれ「皆に聞いてみたいお題」をひとつずつ持ち寄る形式だったため、まさに現場の最前線で直面しているリアルな悩みや疑問が次々と共有されました。

意見交換では、利用者さんにとっての「本当の自立支援」とは何かという根本的なテーマをはじめ、ケアプランター連携システムの具体的な導入・活用状況、現場でのICT化を進める上での課題やその工夫など、今まさに直面している課題について深く話し合うことができました。また、居宅ケアマネジャーと施設ケアマネジャーの連携強化についても互いの立場から意見を交わすことができ、日頃の業務につながる多くの気づきを得ることができました。

普段の講義形式の研修ではなかなか質問しづらいような細かな疑問も気兼ねなく聞くことができ、非常に勉強になりました。何より、他事業所のリアルな取り組みやアイデアを知ることができたこと、そして同じケアマネジャーとして抱える日頃の悩みを共有し合えたことが大きな収穫です。自分一人で抱え込んでいた課題に対しても視野が広がり、明日からの支援に向けた活力と新たな視点をいただく大変有意義な時間となりました。

このような貴重な学びと交流の場を企画・準備してくださった皆様、そして温かく意見を交わしてくださった参加者の皆様に心より感謝申し上げます。今後もこのような現場に寄り添った学習会や交流の機会があれば、ぜひ積極的に参加していきたいと思います。



【帯広市団体意見交換会】

開催日:令和8年6月12日

帯広市の各担当課をお迎えし「第十期 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向けた意見交換会を開催いたしました。

当日は「ケアマネジャーの現状と課題」や「介護人材の確保」をテーマに、更新制の見直しや現場の負担軽減などについて行政と活発な議論を行いました。最前線の声を直接届ける大変有意義な機会となりました。

令和9年度からの次期計画に向け、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、今後も帯広市と連携してまいります。

令和8年度 定期総会

令和8年度 定期総会を開催いたしました

5月22日、令和8年度の「帯広市介護支援専門員連絡協議会 定期総会」を開催いたしました。

開催にあたり、役員を含む39名の会員の皆様にご来場いただいたほか、75名分の委任状をいただき、合計114名のご参加を賜いました。

本会規約に基づき、総会が適正に成立いたしましたことをまずはご報告申し上げます。

総会当日は、役員13名が登壇して議事進行や各部からの報告(令和7年度の事業・決算・監査報告)を行い、一般参加の会員の皆様とともに、令和8年度の事業計画案や収支予算案、新役員の選出について慎重な審議が行われました。

審議された議案はすべて拍手多数により、滞りなく承認・可決されましたことをご報告いたします。

お忙しい中ご出席いただいた皆様、ならびに委任状をご提出いただいた会員の皆様に、心より感謝申し上げます。今年度も当協議会の活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

～ いやしのオフタイム ～

居宅介護支援事業所「はるか」 根本有紀

短大を卒業後、特別養護老人ホーム「けいせい苑」に入社しました。その後結婚を機に退職し、子育て中心の生活に。令和になってから、小規模多機能型居宅介護で介護職として復職しました。

特養時代は、利用者さんと一緒に外出したり、おやつ作りをしたいするのが楽しい思い出です。介護職時代には、毎朝担当の利用者さんからリクエストされて「荒城の月」を歌うのが日課で、喜んでもらえるのが嬉しい時間でした。

復職後、利用者さんやご家族の様子を間近で見ている中で「もっと在宅での生活を支える視点を知りたい」と思うようになり、働きながら介護支援専門員の資格を取得。この春から居宅ケアマネとしてデビューしたばかりです。

現在は「はるか」で、先輩ケアマネに教えてもらいながら毎日勉強中です。これからもケアマネとして頑張っていきます。

休みの日はカフェ巡りや読書が好きです(サスペンス以外は何でも読みます)。無添加のハンドクリーム作りは5年ほど続けている趣味で、最近はお菓子作りにも挑戦中。これからも一つひとつの関わりを丁寧に、地域の皆さんとの繋がりを大切にしながら、頑張っていきます！



～ ケアマネの輪 ～

合同会社クルポッケ 代表社員 久保 明

平成25年9月に「繋がる・支え合う・分かち合う」を会社の理念として掲げ、おかげさまで11年が経過しました。現在は十勝を中心に6市町村へ出向き、8人のケアマネジャーが互いに連携しながら、日々のマネジメント業務と情報収集に奔走しています。介護保険だけでなく、障がい福祉サービスのケアマネジメント事業にも10年以上先駆けて取り組んできました。

私生活では、山菜採りが大好きで、特に春先に山へ入り「行者ニンニク」を探し当てる時間が最高の息抜きです。厳しい自然の中で育つ豊かな恵みを見つけ出す楽しさはもちろんですが、山菜採りを通じて「厳しい環境を理解することの大切さ」や「自然の恵みを仲間と分かち合う喜び」を日々実感しています。

この経験や気づきは、ご利用者様やご家族様が抱える困難さに寄り添い、地域社会での生活を営むためのハズ役、そして無くてはならない「総合プロデューサー」としての使命を果たす上での大きな糧になっています。

アイヌ語で「暖かい人」を意味するクルポッケという社名には、人それぞれのお悩みごとを受け止める「ポケット」を増やしたいという願いを込めています。「努力は足し算、協力は掛け算。苦労も分かち合えば幸せ。」山での収穫も、仕事の苦労も、みんなで分かち合えば笑顔に変わります。ケアマネ不足が叫ばれる昨今ですが、働く仲間の環境を大切にしながら、これからも地域の皆様に安心を届けられる存在を目指して、誠実に歩んでまいります。



～～～ 帯広市介護認定審査会委員の募集 ～～～

帯広市介護支援専門員連絡協議会では、帯広市の「介護認定審査委員」を募集しています。認定審査の仕組みなど大変勉強になると思います。自薦・他薦は問いませんので、ぜひやってみたい方は事務局までお問い合わせください（応募者多数の場合は調整します）。

- 要件
- 本会会員であること
 - 本会を代表して審査会委員を担えること
 - 所属事業所から許可が得られること（報酬がありますので）
 - おおむね3か月以上担当できること（場合により継続あり）

事務局 早川・金井

【事務局からのお願い】

- ★連絡先や勤務先が変わったり、名字が変更になった場合、ホームページにある「入退会・変更届出書」の書式を活用し、速やかに提出ください。
- ★会員への情報配信は可能な限りメールでの配信をお願いいたします。メールアドレスの登録についてもご協力をお願いします。
- ★新規入会は随時受け付けています。「入退会・変更届け出書」はホームページから入手できますので、詳細については事務局までご連絡ください。

<http://keamane.yokochou.com/>
事務局：早川・金井

【編集後記】

「ケアマネ通信」はいかがでしたでしょうか。今期は学習会や意見交換会、定期総会など、行政や会員の皆様と直接対話できる機会が多く、現場のリアルな課題や知恵を共有し合える大変有意義な時間となりました。設立からのモットーである『ひとりぼっちのケアマネジャーを作らない』のもと、今後も皆様が日々の支援に勇気を持てるような学びと交流の場を企画してまいります。朝晩の寒暖差や季節の変わり目となりますが、どうぞお体に気をつけてお過ごしください。今後とも皆様のご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

総務部部長 高橋 史圭